HITACHI

JP1 Cloud Service システム管理 バージョンアップ 利用ガイド

JCSM10-0260-01

前書き

■ 対象サービス

＜ V02-40 以降＞

●システム管理 - スタンダード 小規模

SD-5273182G3 JP1 Cloud Service/System Management - Standard (Lite Edition) 02-40 以降

●システム管理 - スタンダード 小規模 追加ノード

SD-5273182H3 JP1 Cloud Service/System Management - Standard (Lite Edition) Additional Node 02-40 以降

●システム管理 - スタンダード 15 か月保存

SD-5273181L3 JP1 Cloud Service/System Management - Standard 15 Months Data Retention 02-00 以降

●システム管理 - スタンダード 24 か月保存

SD-5273181M3 JP1 Cloud Service/System Management - Standard 24 Months Data Retention 02-00 以降

●システム管理 - スタンダード 36 か月保存

SD-5273181N3 JP1 Cloud Service/System Management - Standard 36 Months Data Retention 02-00 以降

●システム管理 - スタンダード追加ノード 15 か月保存

SD-5273181P3 JP1 Cloud Service/System Management - Standard Additional Node 15 Months Data Retention 02-00 以降

●システム管理 - スタンダード追加ノード 24 か月保存

SD-5273181Q3 JP1 Cloud Service/System Management - Standard Additional Node 24 Months Data Retention 02-00 以降

●システム管理 - スタンダード追加ノード 36 か月保存

SD-5273181R3 JP1 Cloud Service/System Management - Standard Additional Node 36 Months Data Retention 02-00 以降

●システム管理 - エンタープライズ 小規模

SD-5273182J3 JP1 Cloud Service/System Management - Enterprise (Lite Edition) 02-40 以降

●システム管理 - エンタープライズ 小規模 追加ノード

SD-5273182K3 JP1 Cloud Service/System Management - Enterprise (Lite Edition) Additional Node 02-40 以降

●システム管理 - エンタープライズ 15 か月保存

SD-5273181S3 JP1 Cloud Service/System Management - Enterprise 15 Months Data Retention 02-00 以降

●システム管理 - エンタープライズ 24 か月保存

SD-5273181T3 JP1 Cloud Service/System Management - Enterprise 24 Months Data Retention 02-00 以降

●システム管理 - エンタープライズ 36 か月保存

SD-5273181U3 JP1 Cloud Service/System Management - Enterprise 36 Months Data Retention 02-00 以降

●システム管理 - エンタープライズ追加ノード 15 か月保存

SD-5273181V3 JP1 Cloud Service/System Management - Enterprise Additional Node 15 Months Data Retention 02-00 以降

●システム管理 - エンタープライズ追加ノード 24 か月保存

SD-5273181W3 JP1 Cloud Service/System Management - Enterprise Additional Node 24 Months Data Retention 02-00 以降

●システム管理 - エンタープライズ追加ノード 36 か月保存

SD-5273181X3 JP1 Cloud Service/System Management - Enterprise Additional Node 36 Months Data Retention 02-00 以降

●システム管理 - 規模拡張カスタマイズ

SD-5273180C3 JP1 Cloud Service/System Management - Custom Upgrade 02-00 以降

■ 輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

■ 商標類

記載の会社名，製品名などは，それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■ 発行

2026 年 10 月　JCSM10-0260-01

■ 著作権

All Rights Reserved. Copyright (C) 2025, 2026, Hitachi, Ltd.

変更内容

変更内容(JCSM10-0260-01)　JP1 Cloud Service　02-60

追加・変更内容	変更個所
バージョンアップの注意事項の記載を追加した。	1.1
新環境へバージョンアップ移行する際の移行可否について項目を追加した。	1.3

単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

はじめに

このマニュアルは，JP1 Cloud Service システム管理におけるバージョンアップの内容について説明したものです。

■ 対象読者

このマニュアルは次の方にお読みいただくことを前提に説明しています。

- JP1 Cloud Service / システム管理において，バージョンアップを検討されている方
- JP1 Cloud Service / システム管理において，バージョンアップの概要や基本的な使い方を理解しようとされている方

■ マニュアルの構成

このマニュアルは，次に示す章と付録から構成されています。

第 1 章　システム管理 バージョンアップの概要
システム管理 バージョンアップの概要について説明しています。

第 2 章　システム管理 バージョンアップ利用方法
システム管理 バージョンアップ利用するために必要な手順について説明しています。

付録 A　各バージョンの変更内容
各バージョンの変更内容について説明しています。

付録 B　用語解説
このマニュアルで使用する用語について説明しています。

■ マニュアルの表記

このマニュアルでは，製品の正式名称と異なる表記があります。次に，このマニュアルでの表記と製品の正式名称が異なる点を次の表に示します。

正式名称	このマニュアルでの表記
JP1/AJS3 - Agent [Base]，JP1/AJS3 - Manager [Base]または，JP1/IM - Manager [Base]	JP1/Base
JP1/IM3 - Manager [Agent]	JP1/IM - Agent
JP1/IM3 - Manager [Manager]	JP1/IM - Manager
JP1/IM3 - View [View]	JP1/IM - View

目次

前書き　2
変更内容　5
はじめに　6

1　システム管理 バージョンアップの概要　8
1.1　システム管理 バージョンアップとは　9
1.2　システム構成　10
1.2.1　システム管理のみバージョンアップする場合　10
1.2.2　システム管理とジョブ管理の両方をバージョンアップする場合　10
1.3　新環境へのデータ引継ぎ　12

2　システム管理 バージョンアップ利用方法　14
2.1　バージョンアップ作業の流れ　15
2.1.1　バージョンアップ依頼連絡【お客様側作業】　15
2.1.2　新環境の準備【JP1 Cloud Service 側作業】　15
2.1.3　お客様側接続確認【お客様側作業】　15
2.1.4　新環境の情報提供【JP1 Cloud Service 側作業】　16
2.1.5　新環境の利用開始【お客様側作業】　16

付録　17
付録 A　各バージョンの変更内容　18
付録 A.1　02-60 の変更内容　18
付録 A.2　02-50 の変更内容　18
付録 B　用語解説　19

索引　21

1 システム管理 バージョンアップの概要

システム管理 バージョンアップの概要について説明します。

1.1　システム管理 バージョンアップとは

JP1 Cloud Service では，システム管理の利用開始後，システム管理マネージャー環境を構成する JP1 製品のバージョンアップ版（JP1/IM - Manager 12-50 から JP1/IM - Manager 13-00 へのバージョンアップなど），またはリビジョンアップ版（JP1/IM - Manager 13-10 から JP1/IM - Manager 13-50 へのリビジョンアップなど）が提供され，お客様からの要望があり JP1 Cloud Service 側が承諾した場合，システム管理を新バージョンにバージョンアップすることができます※1。

お客様からバージョンアップ依頼受領後，新環境におけるシステム管理マネージャーの構築に際しては，旧環境のシステム管理マネージャーに対して，JP1 ミドルウェアのインプレースバージョンアップ（VUP）を実施します※2。サービスポータルはバージョンアップまたはリビジョンアップされません。

なお，旧環境が複数のネットワーク区域が存在する場合，一部のネットワーク区域のみ新バージョンへのバージョンアップすることはできません。旧環境で使用している複数のネットワーク区域全てがバージョンアップの対象となります※3。

このマニュアルでは，システム管理のバージョンアップにおける旧環境から新環境へ移行する方法を説明します。

注※1

システム管理のバージョンアップは，JP1 Cloud Service 02-20 以降を対象とします。JP1 Cloud Service 02-20 より前のバージョンをご利用の場合は，新規環境をご契約いただき，お客様自身で移行していただく必要があります。

注※2

システム管理バージョンアップにおいて，ネットワーク構成の変更やシステム管理の構成の変更を伴うバージョンアップはできません。

注※3

ネットワーク区域ごとにバージョンアップを実施する時期を調整できます。通常はすべてのネットワーク区域で同時にバージョンアップを実施しますが，お客様からの要望があり，当社が承諾した場合は，ネットワーク区域ごとに実施時期を変更できます。なお，実施時期の差は最長 6 か月です。

重要

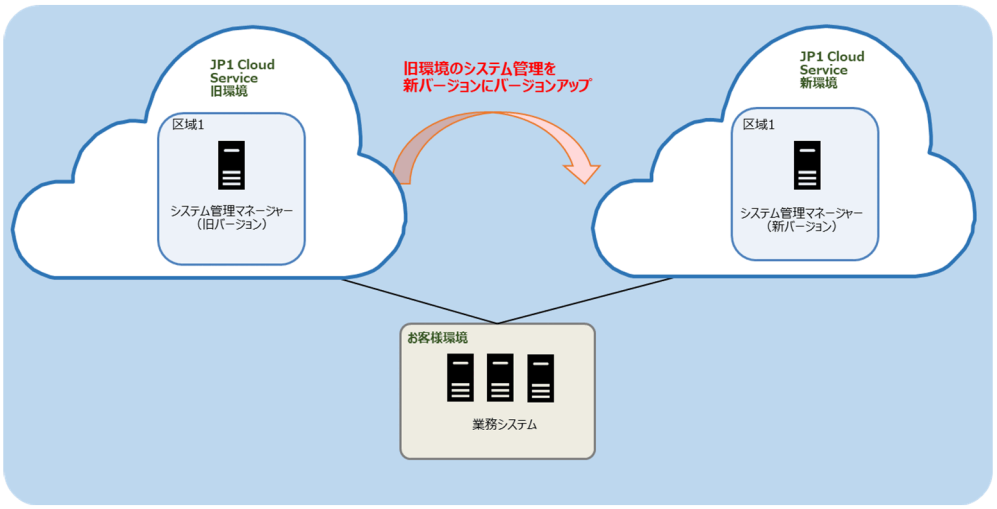
同一のサービスポータルでジョブ管理とシステム管理を操作している場合，両者をバージョンアップすると，ジョブ管理とシステム管理を扱うサービスポータルはそれぞれ分かれます。

1.2　システム構成

システム管理バージョンアップのシステム構成例を以下に示します。

1.2.1　システム管理のみバージョンアップする場合

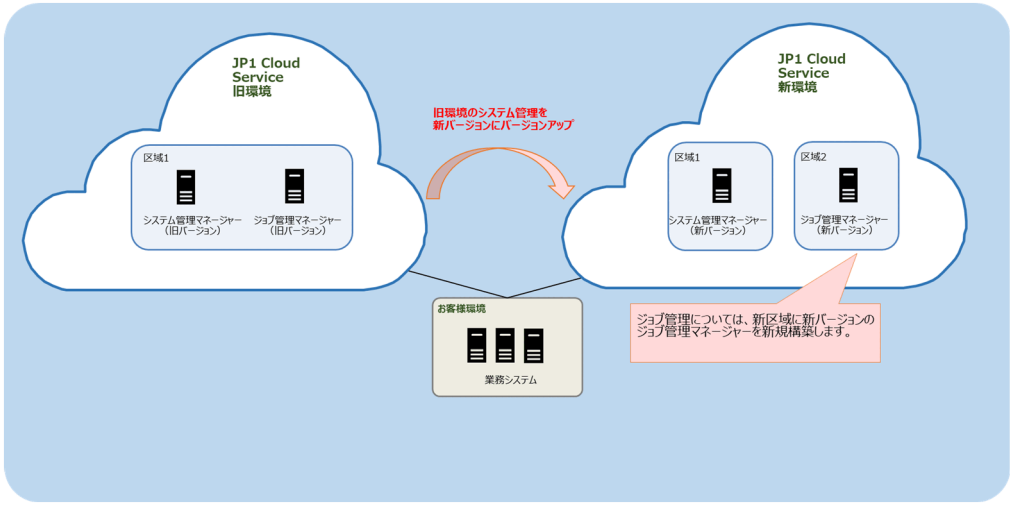
新環境では，旧環境のシステム管理マネージャーに対して，JP1 ミドルウェアのインプレースバージョンアップ（VUP）を実施します。これにより，新環境への移行に際して，お客様環境でのネットワーク接続先の変更作業は不要となります。



1.2.2　システム管理とジョブ管理の両方をバージョンアップする場合

システム管理については，旧環境のシステム管理マネージャーに対して JP1 ミドルウェアのインプレースバージョンアップ（VUP）を実施します。これにより，新環境への移行に際して，お客様環境でのネットワーク接続先の変更作業は不要です。

一方，ジョブ管理のバージョンアップに伴い新環境を利用する場合は，新環境の区域への接続先変更が必要となります。ジョブ管理のバージョンアップ手順や利用方法については，マニュアル「JP1 Cloud Service ジョブ管理 バージョンアップ 利用ガイド」をご参照ください。


JP1 Cloud
Service
旧環境
区域1
システム管理マネージャー
（旧バージョン）
ジョブ管理マネージャー
（旧バージョン）
旧環境のシステム管理を
新バージョンにバージョンアップ
JP1 Cloud
Service
新環境
区域1
システム管理マネージャー
（新バージョン）
区域2
ジョブ管理マネージャー
（新バージョン）
お客様環境
業務システム
ジョブ管理については、新区域に新バージョンの
ジョブ管理マネージャーを新規構築します。

1.3 新環境へのデータ引継ぎ

システム管理のバージョンアップに際し，旧環境から新環境への各データ項目の引き継ぎ可否について以下に示します。

#	データ項目	旧環境のバージョン	移行可否	説明
1	JP1 ユーザー	共通	○	システム管理マネージャーに登録されている JP1 ユーザーの情報を JP1 Cloud Service 側で新環境へ引き継ぎを行います。
2	IM 構成管理	共通	○	システム管理マネージャーに登録されている IM 構成管理の情報を JP1 Cloud Service 側で新環境へ引き継ぎを行います。
3	JP1/IM - Manager の定義ファイル	共通	○	システム管理マネージャー上のお客様が操作可能な JP1/IM - Manager の定義ファイルを JP1 Cloud Service 側で新環境へ引き継ぎを行います。
4	JP1/IM - Agent の定義ファイル	共通	○	システム管理マネージャー上のお客様が操作可能な JP1/IM - Agent の定義ファイルを JP1 Cloud Service 側で新環境へ引き継ぎを行います。
5	自動アクション定義ファイル	共通	○	システム管理マネージャーに登録されている自動アクション定義ファイルを JP1 Cloud Service 側で新環境へ引き継ぎを行います。
6	トレンドデータ	共通	○	監視対象システムのパフォーマンスデータやアラート情報を収集した時系列データなどのトレンドデータを JP1 Cloud Service 側で新環境へ引き継ぎを行います。
7	管理対象エージェント情報	共通	○	管理対象エージェント情報を JP1 Cloud Service 側で新環境へ引き継ぎを行います。
8	ホスト名情報	共通	○	システム管理マネージャーに登録されたサーバのホスト情報は JP1 Cloud Service 側で新環境へ引き継ぎを行います。
9	/usrfile（ユーザーデータ領域）	V01-12 以降	○	/usrfile 配下のお客様データは JP1 Cloud Service 側で新環境へ引き継ぎを行います。
10	IM データベース	共通	○	IM データベースは，JP1 Cloud Service 側で新環境へ引き継ぎを行います。
11	イベント DB	共通	○	イベント DB は，JP1 Cloud Service 側で新環境へ引き継ぎを行います。
12	サーバ内ログ	共通	○	サーバ内ログは，JP1 Cloud Service 側で新環境へ引き継ぎを行います。
13	メトリクス情報	V01-10 以降	○	メトリクス情報は，JP1 Cloud Service 側で新環境へ引き継ぎを行います。
14	その他設定項目，定義ファイル	共通	×	本表に記載のないその他設定項目，定義ファイルについては移行できません。

（凡例）

○：JP1 Cloud Service 側でデータ引継ぎを実施する

×：JP1 Cloud Service 側でデータ引継ぎできない

2 システム管理 バージョンアップ利用方法

システム管理 バージョンアップを利用するために必要な手順について説明します。

2.1　バージョンアップ作業の流れ

システム管理 バージョンアップの依頼から利用を開始するまでの流れについて以下に示します。

#	作業概要	作業詳細	作業詳細
1	バージョンアップ依頼連絡	お客様からのバージョンアップ依頼	お客様
2	新環境の準備	新バージョンのシステム管理マネージャーの構築，セットアップ	JP1 Cloud Service
3		JP1 Cloud Service 側での旧環境から新環境へのデータ引継ぎ	JP1 Cloud Service
4	お客様接続確認	新環境のシステム管理マネージャーの疎通確認を実施	お客様
5	新環境の情報提供	新環境の情報をお客様に提供	JP1 Cloud Service
6	新環境の利用開始	新環境システム管理の利用開始	お客様

2.1.1　バージョンアップ依頼連絡【お客様側作業】

システム管理のバージョンアップが必要な場合，バージョンアップ依頼をサービス窓口までご連絡ください。

2.1.2　新環境の準備【JP1 Cloud Service 側作業】

お客様からバージョンアップ依頼受領後，新環境におけるシステム管理マネージャーの構築に際しては，旧環境のシステム管理マネージャーに対して，JP1 ミドルウェアのインプレースバージョンアップ（VUP）を実施します。

バージョンアップ作業を行う際には，旧環境のシステム管理マネージャーの停止が必要となります。これに伴い，バージョンアップ作業中は以下の影響があります。

- 旧環境のシステム管理マネージャーが提供する各 JP1/Base からのイベントの報告や自動アクション，JP1/IM - View および統合オペレーション・ビューアーでの接続・操作が行えません
- ジョブ管理とシステム管理で認証連携を行っている場合，ジョブ管理マネージャーでは JP1/AJS3 for CSA のジョブ実行できず，JP1/AJS3 - View での接続や操作も行えないという影響があります。

また，JP1 Cloud Service 側で移行できるデータを旧環境から新環境へデータ引継ぎを行います。データ引継ぎの詳細について，「1.3　新環境へのデータ引継ぎ」を参照ください。

2.1.3　お客様側接続確認【お客様側作業】

新環境のシステム管理マネージャーおよびサービスポータルとお客様の環境が接続できることを確認します。

(1)　管理対象エージェントからシステム管理マネージャーへ接続確認

管理対象エージェント(JP1/IM - Agent)からシステム管理マネージャーに対して疎通確認をします。管理対象エージェントに対して以下の接続確認を実施してください。

接続確認

- 管理対象エージェントで「ping ホスト名」を実行して名前解決できることを確認してください。

(2)　システム管理ビューアーへの接続確認

お客様環境の JP1/IM - View から新環境のシステム管理マネージャーへのログインを確認してください。

ログイン確認方法は，マニュアル「JP1 Cloud Service システム管理 利用ガイド」の「2.4.3 システム管理マネージャーへのログイン確認」を参照してください。

(3)　統合オペレーション・ビューアーへの接続確認

統合オペレーション・ビューアーからシステム管理マネージャーへのログインを確認してください。

ログイン確認方法は，マニュアル「JP1 Cloud Service システム管理 利用ガイド」の「2.4.3 システム管理マネージャーへのログイン確認」を参照してください。

(4)　サービスポータルへの接続確認

新環境のサービスポータルとお客様の環境が接続できていることを確認してください。

サービスポータルへの接続手順については，マニュアル「JP1 Cloud Service ジョブ管理・システム管理 導入ガイド」の「1.2.7 接続確認の手順」を参照してください。

2.1.4　新環境の情報提供【JP1 Cloud Service 側作業】

JP1 Cloud Service 側での新環境の準備完了後，お客様へ新環境の情報を提供します。

新環境の情報については，JP1 Cloud Service 側が別途提供する「ご利用環境情報（ジョブ管理・システム管理）」を確認してください。

2.1.5　新環境の利用開始【お客様側作業】

お客様側での接続確認後，新環境のシステム管理を利用開始できます。新環境のシステム管理マネージャーは，旧環境と同一ホスト名・IP アドレスで構築されるため，バージョンアップ後の移行に伴う切り替え作業はお客様側では不要です。

付録

付録 A　各バージョンの変更内容

各バージョンでの変更点を次に示します。

付録 A.1　02-60 の変更内容

- バージョンアップの注意事項の記載を追加した。
- 新環境へバージョンアップ移行する際の移行可否について項目を追加した。

付録 A.2　02-50 の変更内容

- システム管理のバージョンアップの注意事項を追加しました。

付録 B　用語解説

（英字）

JP1 イベント

システムで発生した事象を JP1 で管理するための情報です。このマニュアルではイベントと略している場合もあります。

JP1/Base

JP1/IM の前提プログラムであり，JP1/IM の基盤機能を提供します。

イベントの送受信や，ユーザーの管理，起動の制御などをします。また，JP1/IM システムにおけるエージェントとしての役割も持ちます。

JP1 ユーザー

JP1 を使用するためのユーザーです。

（ア行）

オンプレミス

自社内の管理する設備に情報システムのハードウェアを設置して運用する形態のことです。

（カ行）

管理対象エージェント

システム管理マネージャーからの処理要求を受けて，JP1 イベントの管理や，コマンド実行などをするための機能です。主に以下の構成物から構成されます。

- JP1/Base
- JP1/IM - Agent

（サ行）

サービスポータル

JP1 Cloud Service が提供する，お客様がセルフサービスで操作可能な GUI プログラムです。

システム管理ビューアー

システム管理マネージャーを操作するための機能です。主に以下の構成物から構成されます。

- JP1/IM - View

システム管理マネージャー

システム全体の一元的な監視と操作を実現することで，システムを統合管理するための機能です。主に以下の構成物から構成されます。

- JP1/IM - Manager
- JP1/Base

索引

J

JP1/Base〔用語解説〕 19

JP1 イベント〔用語解説〕 19

JP1 ユーザー〔用語解説〕 19

お

オンプレミス〔用語解説〕 19

か

管理対象エージェント〔用語解説〕 19

さ

サービスポータル〔用語解説〕 19

し

システム管理ビューアー〔用語解説〕 19

システム管理マネージャー〔用語解説〕 20

株式会社 日立製作所

〒 100–8280　東京都千代田区丸の内一丁目 6 番 6 号